

# 国の追加経済対策として 平成21年度 燕市一般会計補正予算を可決

# 燕市の地域活性化と 経済危機対策に 国からの4億 4,872万円を増額補正

## ア 地域要望への対応

8事業 1億8,600万円

市内各地域からの要望に応じて、優先度・緊急度の高い箇所の市道改良舗装、道路照明、下水路、安全施設、消雪パイプなどの改修を実施して生活環境の改善を図ります。

- 道路改良舗装事業 5,000万円



側溝整備や道路の拡幅改良(約30カ所)

悪化を続ける経済情勢を踏まえ、20年度における国の2次補正予算成立の遅れから、当市の21年度当初予算に計上できなかった、地域活性化・経済危機対策臨時交付金を

活用した追加経済対策を内容とする補正予算が、賛成多数で可決されました。この補正予算案の概要である全41事業のうち主な事業を紹介します。

## ウ 教育・子育て支援対策

9事業 7,630万円

次代を担う子どもたちの安全・安心を確保し、学校、保育園、公園の設備や備品を充実させ、快適な子育て・子育て環境づくりを推進します。

- あったか安心トイレ設置事業 1,500万円



保育園(14園)、幼稚園(4園)のトイレを洋式暖房便座に改修

## エ 安全・安心対策

15事業 4,710万円

老朽化した公共施設を改修するとともに、避難所などの公共施設の耐震診断、新型インフルエンザ対策などを迅速に実施し、市民の安全・安心の確保に努める。

- 粟生津体育文化センター耐震診断事業 560万円



防災対策の強化として、10カ所の公共施設の耐震診断を実施

## オ 環境負荷低減対策

2事業 3,900万円

せん定枝の破碎機の増設や、レジ袋削減のためのマイバッグ持参運動キャンペーンを実施。ごみの削減と環境負荷の低減を図る。

- レジ袋削減・マイバッグ持参運動キャンペーン事業 300万円



レジ袋削減に向けた啓発運動を展開

## イ 地域産業活性化対策

7事業 1億32万4千円

高い技術力と産地イメージを活かした新製品開発や人材育成などの施策を実施。経済危機対策として、中小企業への信用保証料の補給制度を拡充。



- 農工商連携による産地製品販売推進事業 2,987万4千円

首都圏に小規模販売店を開設



### ■文教常任委員会(6月24日)

燕南幼稚園、燕西小学校特別支援教室、吉田小学校、「秋葉町児童クラブ」「児童クラブフレンド」など、教育施設を視察しました。また、5月15日には教育委員と合同で燕南小学校などの校舎改築現場、文化会館展示ホールを視察しました。



燕南小学校建設現場を視察

### ■産業建設常任委員会(5月15日)

分水向陽地内の町畑東西南北線道路築造事業や、熊森地内、北都地内の経営体育成基盤整備事業、また、今秋開催の新潟国体までには完成予定の、井土巻地内の小関佐渡2号線道路改良事業など、生活基盤整備工事箇所を視察しました。



八王寺地内の道路舗装現場

### ■市民厚生常任委員会(5月18日)

福祉の分野では、特別養護老人ホーム「さわたりの郷」、分水地内の「グループホーム緑」の現状を視察しました。また、環境面では、弥彦村(株)藤井商店を訪問。太陽光発電を率先して利用し、環境改善と経費節減への取り組みを視察しました。



「さわたりの郷」施設内で

### ■総務常任委員会(5月12日)

新庁舎建設地や吉田95号線、燕地区の八王寺佐渡線の道路整備現場、国体が開催される吉田ふれあい広場、改築工事が進む燕南小と燕中、吉田南小など、各事業の進捗状況を担当者から聞きながら視察を行いました。



八王寺佐渡線道路改良事業の視察